



環境省報道発表

令和4年4月20日（水）

北海道での高病原性鳥インフルエンザ発生（野鳥国内64例目） に伴う野鳥緊急調査の結果について

<北海道同時発表>

1. 北海道札幌市における高病原性鳥インフルエンザの発生（野鳥国内64例目）を受けて、北海道が令和4年4月5日（火）から7日（木）の3日間、及び環境省野鳥緊急調査チームが4月15日（金）から17日（日）の3日間、野鳥監視重点区域内における現地の野鳥の生息状況、死亡野生鳥獣などの調査を実施しました。
2. この調査において、野鳥の大量死等、野生鳥獣の異常は確認されませんでした。

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省自然環境局
野生生物課鳥獣保護管理室
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5521-8285
室 長：東岡 礼治（内線6470）
室長補佐：村上 靖典（内線6675）
専 門 官：庄司 亜香音（内線6473）
担 当：宮澤 結有（内線6477）

■ 調査期間

北海道：令和4年4月5日（火）～ 同年4月7日（木）の3日間

環境省：令和4年4月15日（金）～ 同年4月17日（日）の3日間

■ 調査結果

北海道札幌市における高病原性鳥インフルエンザの発生（野鳥国内64例目）を受けて指定した野鳥監視重点区域内で、北海道が渡り鳥の飛来地等8か所、及び環境省野鳥緊急調査チームが10か所において、生息状況調査、死亡野生鳥獣の調査等を実施した結果、野鳥の大量死等、野生鳥獣の異常は確認されませんでした。

（参考）野鳥緊急調査で観察された鳥類

北海道調査

検査優先種	種数	種類
検査優先種1	0種	
検査優先種2	0種	
検査優先種3	1種	トビ
合計	1種	

環境省野鳥緊急調査チーム調査

検査優先種	種数	種類
検査優先種1	4種	オシドリ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ
検査優先種2	1種	マガモ
検査優先種3	11種	ヨシガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ミコアイサ、カワアイサ、アオサギ、オオバン、カモメ、セグロカモメ、トビ
合計	16種	

※ 検査優先種：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定しているものです（参考情報参照）。

■ 今後の対応

野鳥監視重点区域において、引き続き野鳥の監視を継続します。

【参考情報】

環境省ホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html)

「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html)

以上